

# ■ 井戸の水質調査で酒どころをサポート

## 広島工業大学

生命学部食品生命科学科の講義の中で醸造に興味を持った2、3年生の有志が、日本酒造りに使われている仕込み

水の分析に挑んだ—写真。参加者は16人。昨年8月から月に1度、隣市の東広島市にある日本三大銘醸地、西条地区の蔵元6社を訪れ、8カ所の井戸から水を持ち帰って分析した。項目は硬度や水素イオン濃度など6つ。正確を期すために毎月、全ての項目で複数回の実験をした。この活動は学生の自主的な活動を支援する学内制度で採択され、資金援助を受けて実施。学生たちは3月に本年度の水質調査の結果をまとめた。4月以降も新3年生を中心に活動し、水質データの蓄積を通じて広島の水質調査への貢献を目指す。

